

## 平成22年みよし市教育委員会第7回定例会 会議録

日	時	平成22年7月21日(水) 午後1時30分開議
場	所	市役所西館4階402会議室
出席委員		委員長：林 文夫 委員長職務代理者：岡本洋子 委員：富樫佐智子 委員：佐堀守秀 教育長：廣瀬正己
説明のため出席した職員		教育部参事：加藤了介、教育部次長：柳川 傑、 教育行政課長：鈴木 淳、教育行政課主幹：久野宗秀、図書館長：加納公明、 歴史民俗資料館長：野々山照夫、学校教育課長：太田予一、 学校給食センター所長：加藤正義、スポーツ課長：野々山茂樹
書記		教育行政課課長補佐：久野俊人
傍聴者		なし
		委員長 教育委員会会議の開会及び閉会につきましては、みよし市教育委員会会議規則第8条の規定により、委員長が宣言することとなっております。 また、会議録の作成につきましては、みよし市教育委員会会議規則第16条第1項の規定に基づき、教育行政課 久野補佐 にお願ひします。
日程 1	【開会宣言】	委員長 日程1平成22年みよし市教育委員会第7回定例会を開会します。 (午後1時30分)
日程 2	【委員長報告】	委員長 日程2委員長報告 前回の教育委員会後、本日までに出席しました行事等はお配りしました一覧表のとおりです。 各課報告後に7月15日、16日の県外視察研修報告を委員からさせていただきます。よろしくお願ひします。
日程 3	【教育長報告】	委員長 日程3教育長報告 教育長からの報告をお願ひします。 教育長 前回の教育委員会後、出席、参加した会議、行事等は、お配りしました一覧表のとおりです。この中の6月19日の少年の主張みよし大会ですが、12名の小中学生それぞれ素晴らしい発表をしてくれました。いずれも自分の体験等に基づく発表をしてくれたわけですが、審査の結果北中の大竹日名子さんと南中の足立ななせさん二人が西三河ブロックの審査会の方に推薦をされております。この後県大会若しくは全国大会へ進んでいくことを期待しております。以上です。

<p>日 程 4 【前 回 会 議 録 の承認】</p>	<p>委員長 日程4前回会議録の承認。会議録の朗読をお願いします。      教育部次長 &lt;&lt;前回(第6回定例会)の会議録を朗読&gt;&gt;      委員長 ただいまの会議録につきまして、みよし市教育委員会会議規則第16条第1項の規定に基づき、承認してよろしいか。挙手をお願いします。      【挙手全員】      委員長 挙手全員です。会議録は、承認されました。</p>
<p>日 程 5 【議 事】 議案第32号 (平成23年度 みよし市立小中 学校が使用する 教科用図書採 択について)  議案第33号 (みよし市教育 委員会後援等名 義使用の承認に ついて)</p>	<p>委員長 日程5議事に入ります。      委員長 議案第32号の説明をお願いします。      学校教育課長 &lt;&lt;議案第32号について説明&gt;&gt;      委員長 議案第32号について、質疑のある委員は挙手をお願いします。      委員長 質疑がないようです。      委員長 議案第32号 平成23年度みよし市立小中学校が使用する教科用図書の採択について、採決してよろしいか。      委員長 原案に賛成の委員の挙手を求めます。      &lt;&lt;挙手全員&gt;&gt;      委員長 挙手全員です。よって、議案第32号は可決されました。      委員長 次に、議案第33号の説明をお願いします。      教育行政課長 &lt;&lt;議案第33号について説明&gt;&gt;      委員長 議案第33号について、質疑のある委員は挙手をお願いします。      委員長 よろしいですか。      委員長 議案第33号 みよし市教育委員会後援等名義使用の承認について、採決してよろしいか。      委員長 原案に賛成の委員の挙手を求めます。      &lt;&lt;挙手全員&gt;&gt;      委員長 挙手全員です。よって、議案第33号は可決されました。</p>
<p>日 程 6 【協 議 及 び 報 告 事 項】</p>	<p>委員長 次に、日程6協議及び報告事項に入ります。      次第に従って順次協議及び報告をお願いします。      教育部次長 &lt;&lt;8月教育委員会行事予定の説明&gt;&gt;      教育行政課長 &lt;&lt;教育行政課からの協議及び報告事項について説明&gt;&gt;      1 平成22年度学校プール一般開放事業について      2 平成23年みよし市成人式開催要項(案)について      3 過去に後援等の実績があり審査承諾をした申請の報告について      学校教育課長 &lt;&lt;学校教育課からの協議及び報告事項について説明&gt;&gt;      1 夏季休業中における児童生徒の指導等について      スポーツ課長 &lt;&lt;スポーツ課からの協議及び報告事項について説明&gt;&gt;      1 みよし市少年スポーツ交流団(野球)派遣について</p>

2 みよし市少年スポーツ交流団（サッカー）派遣について

委員長 これまでの協議及び報告事項について、質疑のある委員は挙手をお願いします。

委員 学校プール一般開放事業についてお尋ねいたします。昨年度は事故も無く大変スムーズにプール開放が行われた報告をお聞きしましたが、入用者数の上限は決めておりますか。学校によっては芋を洗うような人数が入っているというお話を聞いたのですが、限られたスペースの中にたくさんの利用者が入って事故等の起こる心配はないのでしょうか。

教育行政課長 上限を決めてやっております。ロッカーを決めてやっております。それ以上にならないようにということで、外で待ってもらおうという状況もあるわけで、現場を見ながら実施しています。ロッカーを使わず入ってしまう子どもも若干はいますが、その分利用者が増えることとなります。そういう場合もあるということを現場には伝えてあります。特に緑丘小学校については、多いときには待ってもらっていますので利用者から不満が出るほどです。

委員 成人式について昨年度参加させていただきました。誓いの言葉の素晴らしい発表をしていただきまして、ずいぶん立派な成人式だったと思います。4中学校が一箇所に集まって成人式をするということは素晴らしく、すみやすさ全国一位のみよし市であろうかと思います。確かに中学校の同窓会のように楽しくやっていたら記念品等ももらうわけなんですけど、せっかくみよしを担う成人が集まった場で、何かイベントとかもう少し魅力のある講演会とか、何かそういう企画ができる補助金にならないかなあとと思います。欠席者もいるわけですが、この成人式だけには出ようとそんな魅力的な成人式を企画の段階で考えていただけたらありがたいと思います。いかがでしょうか。

教育行政課長 碧南市が成人式のコンテストでいい成績を得ているようですので一度研究をさせていただいて、今年度は予算の上限はあるわけですが、許せばそういった予算の要求をしながら、一度検討をさせていただきたいと思います。

委員 ありがとうございます。

委員 他にありますか。なければ、こちらから、県外視察研修の報告をさせていただきます。

まず、私から報告させていただきます。7月15日、16日と教育委員の県外視察研修で、石川県小松市教育委員会と福井県福井市教育委員会に行きました。それぞれの市とも教育委員会としてやっていること悩んでいることはみよし市と大きく変わらないと感じてまいりました。違うところは、特に今回は、教育支援、学校支援のテーマで視察であったこともあり、ハードとなる支援センターをしっかりと持つ

ておられ、また運営組織も外部の方を巻き込んでしっかりと作られて全体的なこと、具体的な運営方法も議論されて進めてみえるということが本市との違いかなと感じてまいりました。全体として大きく変わらないということで安心はしたわけですが、みよし市教育委員会が進んで行く方向が明らかになったのかなという感じを受けて戻ってまいりました。私からは以上です。

委員 小松市は地域事業で学校推進事業を進めていらっしゃるって、日々の事業を行事、親子ボランティア活動等、本当に学校に対して地域が全市を挙げて支援をしていることをお聞きしてきました。みよし市もいろんなボランティアを受けているんですが、組織化して実行委員会とか協議会とかそういう組織化がきちとしておられ活動がより活性化しているのではないかと思います。もう一つ福井市ですが、教育支援プランの中で35の細かく具体的な支援策のがとられていました。教師の多忙化は本市よりも大変ではないかと思いました。市長が盛んにコミュニティを各小学校区とおっしゃっていることがたまたま公民館が各小学校区にあってその地域の活動とその学校がうまく活動ができていることが福井市とみよし市が同じ観点かと思ってみてきました。先生は30台後半から40台という年齢層が多く若い人がとても少なく、地域によって教員の年齢層も随分違うのだなと改めて感じました。このような研修の場を与えてくださって今後の教育委員活動に生かして行きたいと思います。ありがとうございます。

委員 初めての研修で、委員長以下皆さんについて行かさせていただきました。みよし市では悠学カレッジとタイアップして左からこそっと2階へ上がっていくというようなものが、小松市では、支援センターという建物の拠点があり、みよし市にも欲しいという思いが一番頭に残りました。そこに来ればそこで解決できるというシステムができていて、みよしも将来はあのようなになればいいなと思いました。小松市の指導主事の教育支援センター長さんが仰られたことですが、一番怖いことは適用障害として子どもを片付けてしまっていることではないかということです。そういうことを感じられるということは子ども側に立ってちゃんと相談活動をされているのだなあって感心しました。以上です。

委員 小松市、福井市の両教育長さんが挨拶に来ていただきいろいろお話を伺いました。その中で、両氏とも市長を初め積極的に教育に関しては予算を使っていますとのことでみよし市も同じような感覚だと思いました。小松市について感じたことは、委員が仰ったように、相談事業ということで前向きにやられているお話しでした。その説明の中でまだまだ窓口のPRが不足しているとの説明がありました。みよしも前向きに市民の皆さんに知っていただけるような方法が必要ではないかとの気がいたしました。一方、福井市でございますが、教育支援プランとして幼稚園・

保育園、小中学校の連携を積極的に取り入れていましてというようなお話しがございました。その中でメインとするところが何点かありますが、特に小学校教師が中学校の授業を見ることによって小学校の先生のレベルが上がってきているとの説明がございまして、みよしもこのようなところに今後注意をしていけばよいのではないかと感じました。以上です。

教育長 最初に訪問した小松市は、小中学校35校分校1校というところで文科省の補助を受け地域ぐるみ学校支援推進事業を取組み、小中3校がモデル校となってその事業の推進をしてみえました。モデル校となっている学校はいろんな取組み等を行って特色ある活動をしてみえるということで、地域の方々に学校への関心を高め、また、協力支援をしていく体制が組織的計画的に行われているなどお話しを聞いてよくわかりました。ただ、文科省の補助が今年度でなくなるということでモデル校以外の地域支援の取組みがどんなふうに広がっていくのかその辺が大きな課題のように思えますし、文科省からの補助がなくなるからといってその事業をなくすわけにはいかないと思いますので今後は市の支援・補助が相当必要になってくるのではないかと思います。ただ、モデル校の行っている事業等をお聞きしますと今までみよしが行ってきたこと、また、これからやろうとしていることとそれほど違いはなく、同じような取組みが行われているなど感じました。それから福井市の場合ですが、6つの重点目標を柱にして35の教育プランを立てられているわけですが、特に今回の視察テーマである学校支援の視点をおいて視察をお願いしたということもあり、福井市の方から学校・学級支援についてのいろいろな取組みの説明を受けました。みよしが行っていることと同じこともいくつかありましたが、特に支援を要する子どもたち又は、保健室や相談室に登校してくる子供たちの話し相手になったり、学習相談的な肩書きをするパートナーとか、その他生き生きサポーター、こらはみよしでも心の教室相談員、又は、子どもの相談員が全校に配置されていますので、これはみよしと同じ活動が行われていました。保健室登校又は、相談室登校の児童生徒に対する学習や生活面での指導援助をしていく登校支援、まったく学校に登校できない子どもは教育相談センターの方でやっていくというように横の連携というものが大事だということは思います。保健室登校や相談室登校の児童生徒を対象にした登校支援、みよしでは置かれていない障害を持っている子どもへの障害児の介助医といったものを来年中部小学校へ肢体不自由の子どもが豊田養護学校から編入してくるということもあるわけですが、こういったことも考えていく必要があるかなと思っております。今年度もみよしも教育支援センターが立ち上がったわけですがこれから軌道に乗せていくためにいろいろ参考になったと思います。以上です。

日 程 7  
【 閉 会 】

委員長 日程7平成22年みよし市教育委員会第7回定例会を閉会します。  
(午後2時18分)

**次回開催予定**

平成22年8月18日(水) 午前10時から

平成22年8月18日

委員長

委員長職務代理者

委員

委員

教育長

作成者